

第3回旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会

日 時：令和2年12月25日（金）

午前10時～正午（予定）

場 所：市役所本庁舎6階6-3・4会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

（1）市民参画による跡地活用に関する意見について

- | | |
|----------------------------|--------------|
| ①市民参画による跡地活用の検討状況及びスケジュール・ | 資料1 |
| ②機能の分類 | ・・・・・・・・・・・・ |

（2）市民アンケートについて

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| ①市民アンケート | ・・・・・・・・・・・・ | 資料3 |
| ②アンケート内容 | ・・・・・・・・ | 資料4-1・2 |

4 その他の

第4回専門家委員会の日程について

5 閉 会

「旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会」委員

【順不同・敬称略】

役職	氏名	所属	出欠
委員長	柳 年哉	公立鳥取環境大学 経営学部 教授	出
副委員長	福山 敬	鳥取大学 工学部 教授	出
委員	飯野 公央	島根大学 法文学部 准教授	出 (Web)
委員	木田 悟史	公益財団法人日本財団 鳥取事務所 所長	出
委員	堤 洋樹	前橋工科大学 工学部 准教授	出 (Web)
委員	湯口 夏史	湯口一文税理士事務所 税理士	出

資料 1

市民参画による跡地活用に関する意見について

1 市民参画による跡地活用の検討状況

(1) 各種団体意見交換会

開催日	参加団体名	
	①鳥取市観光コンベンション協会	⑥鳥取市ボランティア・市民活動センター
10/28(水)	②鳥取市社会福祉協議会	⑦とつとり若者地方創生会議
	③鳥取商工会議所	⑧鳥取市自治連合会
	④鳥取市文化財団	⑨鳥取市連合婦人会
	⑤鳥取県バス協会	⑩鳥取市商店街振興組合連合会

(2) 市民ワークショップ

開催日	会場	参加者
11/1(日)	鳥取市民会館	20名
11/15(日)	市役所本庁舎	26名

(3) ストリートミーティング

開催日	会場	対象	参加者
10/16(金)	市役所本庁舎	移住者	6名
10/23(金)	市役所本庁舎	高校生	6名
10/28(水)	市役所本庁舎	青年経営者(YEG・JC)	9名
11/5(木)	市役所本庁舎	とつとり若者地方創生会議	6名

(4) 「e-鳥取市役所」電子申請

実施日	概要	提案者
10/26(日)～11/15(日)	電子申請	15名

(5) 個人・団体からの意見・要望

- ① 個人からの要望・・・13件
- ② 団体からの要望・・・12件

(6) これまでお寄せいただいた意見

別添参考資料「旧本庁舎等跡地活用に関するご意見」参照

2 スケジュール

求められる機能の検討	令和2年10月～11月	跡地に求められる機能について、「①各種団体との意見交換会」「②市民ワークショップ」「③ストリートミーティング」などの手法で市民の意見を伺う
	令和2年12月	<p>【専門家委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークショップ等で聴取した意見を整理し、求められる機能を複数案選定 ○選定した複数案の選択肢を基にアンケートの内容を協議
	令和3年2月～3月	上記①②③などで伺った意見を取りまとめ、その後、市民アンケートなどを実施して「求められる機能」に関する本市の考え方をまとめる
	令和3年3月	<p>【専門家委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート等から得られた意見から求められる機能の複数案を選定
活用策の検討	令和3年5月～6月	令和2年度にまとめた「求められる機能」の案をもとに、活用策について上記①②③などの方法で市民の意見を伺う
	令和3年9月	伺った意見を取りまとめて、市民アンケートなどを実施して活用策を絞り込む

↓

活用策の検討	令和3年5月～6月	令和2年度にまとめた「求められる機能」の案をもとに、活用策について上記①②③などの方法で市民の意見を伺う
	令和3年9月	伺った意見を取りまとめて、市民アンケートなどを実施して活用策を絞り込む

↓

選定	令和4年3月	活用策の案を比較・評価し、一定の方向性を示す
----	--------	------------------------

日本庁舎等跡地活用に関するご意見

各種団体意見交換会

概要	年月日	機能・活用策
意見交換会	R2.10.28	<ul style="list-style-type: none"> ●観光・散策をコンセプトに立ち寄りたいと思う施設 ●コンベンション機能を持たせる施設が必要 ●当面は広場としての活用するのがよい ●広場としての活用がよい。問題点としては、平日などイベント未実施時の活用方法 ●施設を作るなら、オープンスペースはそんなにはいらない。ここには展示機能は不要で、もう少し気楽に立ち寄れるものがふさわしい。 ●コロナ禍では、明確な目的がなければ実現しない。 ●大型バスの駐車スペース ●NHK用地 ●周辺建物の建替え時期等を考慮した多目的広場 ●観光・文化に特化した機能の複合化 ●建物は建てない方がよい。 ●目的は固定せず、自由に使えるスペース ●個人的には広場としての活用がベスト ●多機能(駐車場、防災、イベント等含む)のコミュニティ広場 ●点在している文化資源をつなぐ拠点、情報発信拠点として重要な位置にある。各文化をつなぐ場としてオープンスペースを活用 ●市民会館の建替 ●美術館等の展示機能「とり銀文化会館」とも補完し合えるコンベンション機能 ●福祉文化会館の様な施設 ●集会施設(200人～300人) ●地元グルメの集積地 ●観光イベントができるフリースペース(全天候) ●市民が気軽に訪れることができる機能 ●県外の人が鳥取らしさを感じられる施設 ●鳥取市周辺の歴史・観光・特産物紹介機能 ●地域内外からの人を市街地に集める機能 ●鳥取の季節感を生かした展示などリピーター確保につなげられる機能 ●若者、観光客が魅力的に思える場所 ●食品スーパー・コンビニ ●周辺住民の買い物ショップ ●駐車場(イベントスペースとしても活用) ●大型貸切バスの駐車場 ●防災避難場所を併用した施設 ●居住エリア ●高層住宅 ●緑地(国道53号線側) ●周辺住民の憩いの場
		<ul style="list-style-type: none"> ●美術館機能（他の立地に求めるべき） ●商業機能・施設全般 ●娯楽施設・映画館 ●スーパー・コンビニ ●居住機能 ●マンション

市民ワークショップ

概要	年月日	機能・活用策
市民会館	R2.11.1	<p>●本庁舎と第二庁舎は別々の利用をすべき ●景観維持のため緑地公園 ●スケボー練習場 ●若桜街道に人の流れを作る無料駐車場 ●公共施設の建替え場所 ●市の用地としてこだわる必要はなく国・県用地との交換 ●NHK鳥取放送局 ●能楽堂 ●麒麟獅子舞を通年で見・体験でき、市民・観光客が交流できる施設 ●市民ニーズに合った音響効果の整った300人規模の音楽ホール ●小ホール・美術館を備えた市民が集まる芸術文化センター ●第二庁舎は若者が戻って来られるよう会社の研究所・大学生向け事務所 ●第二庁舎は老人向けサロン ●小児科が近くにあるため保育園 ●買い物が不便なので商業施設、食品スーパー ●有料老人ホーム、高齢者用住宅 ●観光案内所、軽食の取れる施設 ●2核2軸の中心、インフラの拠点としてバスター・ミナル ●幸町は遠いので市役所の分室 ●文化団体など団体の事務局 ●子供が遊べる・音楽が聴ける・子どもから年配まで安心して利用できる文化施設 ●久松山を広める歴史・文化発信・展示する施設 ●日本遺産を常設で見られる施設 ●小売店+文化交流ができるタイニーハウス ●ガーデニング・休憩スペース ●キッチンカー・ワークショップに活用できるイベント広場 ●大工町通りに適したランドマーク ●木造密集市街地 ●墓地 ●遷喬・久松・醇風の3小学校の統合 ●練習会場・会議室等の多目的ホール・イベントホール ●文化・観光活動センター ●コンベンションセンター ●第二庁舎は防災拠点 ●第二庁舎は駐車場 ●映画館 ●鳥取環境大学・鳥取大学と連携し学べる場 ●家でも学校でも職でもない居場所がない若者の居場所</p>
		<p>●維持費のかかる公共施設 ●製造工場 ●宅地・マンション ●老人ホーム ●ゲームセンター・パチンコ ●商業施設 ●観光施設 ●利用が一部の人々に限られる体育施設 ●景観を損なう大きな建物 ●変電所 ●民業圧迫になる駐車場 ●NHKなど民間オフィスビル ●イベント広場 ●類似機能施設</p>

市民ワークショップ

概要	年月日	機能・活用策
市役所本庁舎	R2.11.15	<p>●全天候型施設 ●世代間交流ができる保育の拠点 ●用途フリーな多目的施設・広場 ●子供の遊び場となる芝生 ●日々の疲れがとれる場 ●若者が表現できる場 ●様々な人が自由に休んだり情報交流できる屋内スペース ●いつでも誰でもホットできる居場所 ●地域食堂 ●幼児と高齢者をつなぐ高齢者住宅 ●子育て支援の場所 ●市民の悩み相談の場所 ●物々交換（マルシェ） ●NPO・ボランティア団体の活動拠点 ●文化的多目的ホール ●交流・音楽文化的施設 ●映画館など若者が集まる場 ●中央公民館 ●防災拠点施設、防災広場、防災学習情報発信施設 ●市立美術館 ●民間企業の集まる場、雇用発信の場 ●UJIターン者・若者の起業支援の場 ●若者と高齢者をつなぐ新産業・起業を創造する施設 ●NHK鳥取放送局 ●映像制作を学べる場 ●鳥取のこれからを創造する場 ●デジタル社会に対応するためリモート会議ができる施設 ●ホテル等の宿泊施設 ●無料駐車場、観光用駐車場 ●市民・観光客が無料・低料金で利用できる駐車場 ●レストラン・喫茶店 ●スーパー、コンビニ ●商業施設 ●60代の働く場 ●地域住民のつながりの場 ●イベント・行事会場 ●交流機能 ●全天候型公園 ●遊べる場 ●集客の拠点 ●今から育つ子のための施設</p> <p>●演奏会・ライブ・集会ができる野外ステージのある広場 ●BBQができるコミュニティ広場 ●飲食店を応援する屋台村 ●自由度の高い広場 ●憩いの空間・フリースペース ●地球環境を守るSDGsのために活用 ●芝生広場 ●緑豊かな環境 ●森・林・水場 ●世代を超えて利用できる場 ●人生を豊かにできる場 ●移住定住先として選ばれる鳥取市となれるよう な夢のある場 ●劇場・映画館・アミューズメント施設 ●星取県なのでプラネタリウムを含む劇場 ●人工的公園 ●500人規模の音楽ホール、適正規模の音楽小ホール ●多目的ホール ●現在の市民会館に代わる施設 ●市民会館駐車場 ●市民会館建て替えまでは空き地・公園 ●周辺施設もまとめて考える ●美術展示会場 ●市民が使えるレンタルルーム ●朝市 ●高校生が集う仕組み ●子ども・高齢者がゆっくりできるスペース ●健康増進機能 ●文化・芸術等の発信場所 ●花壇 ●バスター・ミナル ●温泉施設 ●観光客より住民に向けた機能 ●人が集まる機能 ●学習・学習広場 ●特色あるまちづくり・人づくり環境 ●展示場 ●新型お試し住宅 ●国の機関誘致 ●報道機関への売却 ●NHK移転</p>
		<p>●単なるレジャー施設 ●アミューズメント施設 ●ゲームセンター、パチンコ、遊興施設 ●風俗施設 ●マンション、集合住宅、居住用施設 ●飲み屋 ●ショッピングセンター、店舗 ●商業施設 ●チェーン店 ●対象者が限定される施設 ●学校 ●野外ステージ ●更地、広場 ●博物館・美術館</p> <p>●駐車場 ●イニシャルコスト、ランニングコストが多額な施設 ●ハコモノ ●大規模施設 ●音楽施設 ●スポーツ施設 ●集客施設 ●民間企業への売却 ●NHK ●他にある類似施設 ●行政機関 ●空間を遮る高いビル ●野外ステージなど音楽イベント施設</p>

ストリートミーティング

概要	年月日	機能・活用策	
移住定住者編	R2.10.16	必要な機能・活用策	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術×電子工学等、独自性のある大学や専門学校 ●曇天でもプラネタリウムが楽しめる宇宙科学館 ●地元の芸術家の作品展示に特化した美術館 ●周辺に高校が2校、県庁、高砂屋があるので文化的な場所 ●鳥取砂丘にちなんだ砂風呂等、砂丘体験ができる場所 ●ロマンチックな場所 ●○○横丁。コロナ禍を踏まえ、野外キッチンカーが出店できる広場。食はキラーコンテンツ。
		必要ない機能・活用策	—
高校生編	R2.10.23	必要な機能・活用策	<ul style="list-style-type: none"> ●百貨店などの大型商業施設 ●虐待を受けてる人が集まる場所 ●職業体験できる店 ●落ち着いた雰囲気のあるスポーツもできる施設 ●博物館・美術館・文化施設(演劇・寄席) ●日々のストレス発散ができる、楽しいまちになる娯楽施設 ●地元、観光客もみんなが集まる娯楽施設 ●ちょっとリッチで非日常の空間 ●鳥取には文化が少ない。海外と関われる場所。最新技術で世界の文化を鳥取に ●VR、プロジェクションマッピング、デジタルでの博物館、美術館、国際体験できるところ ●若者の活動の場が減少している。若者たちの交わりが増える場所 ●起業の人とお話しができる、つながれる施設、色々な人と関われる施設 ●若者から高齢者まで世代間が集え・交流できる施設 ●仲間づくりができる施設 ●学習や課外活動、会議ができる施設 ●ランウェイだけあって、一緒にファッションショーをする場所 ●アスレチックパーク ●年齢層をターゲットにしない公園
		必要ない機能・活用策	<ul style="list-style-type: none"> ●飲食店 ●居酒屋・バー ●公園
青年経営者編	R2.10.28	必要な機能・活用策	<ul style="list-style-type: none"> ●常に市民が行くことができ、イベント開催も可能な、中心市街地活性化につながる施設 ●人の流れが生まれる施設 ●屋内で子どもが遊べるスペース(※家族連れの中心市街地への流れを作る) ●高校生・大学生が自習等で集まれるスペース ●カルチャーセンター等の生涯学習の受け皿となる施設 ●周辺に無いスーパー・マーケット(地元住民としての御意見) ●シェアオフィス、食堂、ジム等が入り収益を上げることができる施設 ●将来的な学校の統合を見据え、周辺の小学校を統合した学校(※学校跡地活用も検討) ●最先端の科学技術を学ぶことができる施設 ●公立鳥取環境大学、鳥取大学の学生がまちなかに出て集まり、学生同士交流できる施設 ●学生の起業につながるような、学生がビジネスに触れることができるオフィス的な機能 ●周辺地域は高齢者が多いため、高齢者を大切にするものまちづくりにつながるもの ●鳥取市では車での移動が多いため、大規模な駐車場
		必要ない機能・活用策	—
とつとり若者地方創生会議編	R2.11.5	必要な機能・活用策	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取駅から距離があるため、人が旧本府舎跡地に行く強い役割が必要。あわせて公共交通も充実させる必要 ●悪天候でも対応できるよう、オープンスペースと屋内施設の両方が必要 ●学生と企業とのワークショップ等が開催できるスペース ●鳥取駅周辺の商業エリアと鳥取城跡周辺の文化エリアの中間的な位置となるため、歴史・文化や地域の特産品の両方を発信することができる施設 ●郊外にある地元のお店、カフェ、名産等、鳥取の魅力を凝縮したようなイベント等が開催できるスペース ●県内の名産品(大江ノ郷や大山乳業の商品、境港の海鮮等)がブースとして入るスペース ●特急1本を待つくらいの時間(数時間程度)を過ごせるような場所 ●人が必ず行かなければならないような仕掛け(例えば学生が必ず行う必要がある手続き)を作る ●市内の観光、商品等、鳥取市の様々な情報を発信できる施設 ●全ての世代に目を向いた施設 ●友人と一緒に出掛けることができるようなテーマパークのような施設 ●単一の施設ではなく、様々な機能を備えた複合的、総合的な施設
		必要ない機能・活用策	<ul style="list-style-type: none"> ●他の都市にもあるような鳥取市を差別化できない施設 ●鳥取市の良さが損なわれるような施設

e－鳥取市役所

概要	年月日	機能・活用策
電子申請	R2.10.26 ～11.15	<p>●子育て世代限定の住居 ●鳥取城を復元。鳥取城型の鳥取市の美術館兼、鳥取城の歴史資料館を建設 ●住む人はもちろん、観光で訪れた人も利用出来る施設 ●各年齢層が幅広く使って健康的に文化的に生活を豊かに出来る場所 ●雇用を生み出せる場所 ●歴史的な背景も踏まえ、全国にアピール出来る物、目先の事では無く何年経っても使える施設 ●今後の生活(withコロナ)様式にあった物 ●屋根付き公園 ●無料駐車場 ●会議や講演会、展示会や試写会等を無料で開催でき、スポーツ施設も有するコミュニティーセンター施設 ●駐車場（市民会館利用者は無料、その他の利用は有料） ●通年屋内スケートリンク ●多目的使用できる木製床のホールと福祉文化会館機能を併設した施設 ●文化芸術活動の拠点 ●人が集まる、行きたい場所 ●公園・ドッグラン ●アイデアが出た時にすぐ取り組めるよう、更地にするだけして、暫くは格安の駐車場 ●次世代に喜ばれる機関や施設 ●屋内子ども広場 ●地域交流センター 防災、減災施設 ●街に緑を増やして、憩いのエリア ●起業・創業支援施設 ●子どもが集まることができる機能 ●雨天、積雪時にも利用することのできる機能 ●人が集まる場所 ●地域に関わる展示、催し物、イベントスペースの設置。麒麟獅子や砂像の展示等 ●子育て支援センター、母親学級、子供向け「室内遊び場」の設置し、家族連れの流入を図る ●飲食店街、公園・広場、駐車場 ●公務員の働く街として、また公務員が働ける施設（中央省庁の地方移転）</p>
		<p>●誰も使わない施設 ●映画館 ●新庁舎にある機能 ●倉庫や管理施設等、閉鎖的機能 ●市民に大きな負担をかける活用 ●巨額の建設費を要する施設 ●高齢者向けの活動・意義が謎の施設・機関 ●娯楽的商業的施設等 ●目的が単体の施設 ●観光や遊びを目的とした施設</p>

個人・団体からの意見・要望

概要	年月日	機能・活用策
個人・団体からの意見・要望	隨時	<ul style="list-style-type: none"> ●市立美術館(美術の展示場ではなく、市民が使用可能なギャラリー) ●「にぎわい、ふれあい、たすけあい」の拠点施設 ●生涯学習センター、芸術文化ホール、屋内こども広場を核とした複合型公共施設 ●地域住民の利便性向上のための商業施設 ●展示場 ●2~300人キャパの音響・照明等設備が整ったホール ●大学連携と地域連携“大学コンソーシアム鳥取”学際国際広場・イナバットリ ●旧本庁舎は解体せず6階を4階に減築・耐震補強し、中心市街地の公共施設として利用。現駐車場は市民、観光客に無料、近隣事業者に低料金で提供 ●歴史文化ゾーンでも芸術文化を大切にしてほしい ●市民の憩いと経済活動の拠点となるオアシス(多目的広場)～多目的(芝)広場による、コミュニケーション・経済活動・防災の拠点づくり～ ●3密を防いだ野外ライブ・イベント(集会)広場(日赤病院の騒音対策として高木植栽)；野外ステージ・多目的芝生広場・防音対策(高木植栽)・最小限の駐車場 ●自由度の高い市民のコミュニティ広場：野外炊飯棟・野外トイレ・最小限の駐車場 ●火災・地震・水害から市民を守る防災広場：多目的芝生広場・備蓄倉庫・貯水槽・充電用電源・防災トイレ・再生可能エネルギー臨時収容施設 ●こちらのゆとりと安らぎを与える緑豊かな空間づくり：四季を感じられる植栽・ベンチや四阿等の休息施設・バリアフリー園路 ●市内の飲食店を応援する屋台村(飲食店)：仮設型出店ブース・水道・電気 ●中心市街地活性化に資する新たな交流拠点・活動拠点 ●地球環境を守り育んでいく公園・市民参加(協働)でつくる公園・パークPFIの導入 ●第二庁舎跡地を立体駐車場 ●市民会館の建替えがあれば芝生広場の一部として活用 ●文化・芸術の拠点となる専門的音響環境の整った音楽小ホール(300席程度) ●ホール以外に、リハーサル室、練習室、楽屋等も必要 ●郵便局の移転活用 ●賑わいが出る街づくりにつながるような活用 ●10階以上のマンションを民間企業と共同で建てる ●芝生広場 ●大きな映画館、スケートリンク等、若者の遊べるところ ●音楽小ホール ●無料駐車場 ●地域交流スペース ●美術館にシネコンを併設。コンサートホール・劇場・美術ギャラリーの複合化 ●市民が憩うゾーン ●市民が常に集うことができる公園 ●地下駐車場 ●地下防災用品備蓄設備 ●中学生・高校生のための学習室・談話室・休憩室
		<p>●跡地利用より優先すべきことに税金を使用</p>

本庁舎等跡地活用に係る機能の分類（案）

番号	I 機能	II 機能	III 活用策の一例
①	教育・学習	専門学校等	専門学校、カルチャースクール
		図書館等	図書館
		小学校	小学校統廃合
②	コミュニティ	集会・交流機能	公民館、コミュニティセンター、フリースペース
③	医療・福祉	医療機能	病院、クリニック
		子育て支援機能	保育所、子どもの遊び場
④	健康増進	健康増進機能	スポーツ施設
⑤	業務	事務所機能	オフィス、起業支援施設
⑥	金融・サービス	金融・サービス機能	銀行、郵便局
⑦	商業	小売機能	大規模店舗、スーパー、コンビニ
⑧	飲食	飲食機能	レストラン、喫茶店、カフェ、居酒屋
⑨	観光・コンベンション	観光振興機能	地元文化・グルメ体験、観光案内所
		コンベンション機能	特産品展示・販売、貸会議室
⑩	宿泊	宿泊機能	ホテル
⑪	娯楽・レジャー	アミューズメント機能	アミューズメント、映画館、プラネタリウム
⑫	芸術・文化	美術館等	美術館、展示・学習
		ホール等	音楽ホール、多目的ホール
		芸術文化関連機能	事務所、ミーティングルーム、練習場
⑬	交通	駐車場等	駐車場、バスターミナル
⑭	防災・減災	防災・減災機能	避難施設、防災拠点、防災学習施設
⑮	居住	一般住宅機能	マンション、アパート
		高齢者向け住宅機能	老人ホーム、介護付き住宅（サ高住）
		定住促進住宅	お試し住宅
⑯	オープンスペース	公園・緑地機能	公園・緑地
		広場	多目的広場、芝生広場
		その他	墓地
⑰	行政	行政サービス	市役所出先、公共施設移転用地、国機関
⑱	その他	その他	考え方に関する意見等

日本庁舎等跡地活用に関するご意見【機能分類】

番号	本庁舎等跡地活用に係る機能の分類(案)			意見の傾向	必要な機能			市民W S1	市民W S2	市民要望	団体意見交換会	団体意見交換会	個人要望	団体意見交換会	市民W S1	市民W S2	ストリートミーティング	学校	スマート・シティ・タワー	
	I 機能	II 燃能詳細	III 活用策		4	5	6													
① 教育・学 習	専門学校等	専門学校 カレッジースクール	※ストリートミーティング多様な世代の学習の場として カリチャースクール	鳥取環境大学・鳥取大学と連携し学べる場	5															
	図書館等	図書館																		
	小学校	小学校統括会																		
			●意見多數 ※市民の交流の場、居場所としてのニーズ	コミュニケーションセンター コミュニケーションセンター				地域住民のつながりの場 イベント・集会・事業会場 交流機能 観光客や生徒などに向けた機能 中央公民館各地域の公民館 を統括・防災機能	第一回会は老人向けサロン											
② コミュニ ティ	集会・交流機能	フリー・ベース																		
			●意見多數 ※市民の交流の場、居場所としてのニーズ																	
③ 医療・福 祉	医療機能	病院、クリニック																		
	子育て支援機能	保育所																		
④ 健康増進	健康増進機能	スポーツ施設																		

番号	本庁舎等跡地活用に係る機能の分類(案)			意見の傾向	団体意見交換会	市民W.S.1	市民W.S.2	ストリートミーティング	団体要望	個人要望	団体意見交換会	市民W.S.1	市民W.S.2	ストリートミーティング			
	I 機能	II 機能詳細	III 活用策														
(5) 業務	事務所機能	オフィス	※若者定住促進、起業支援 NHK局の定住促進、起業支援 新しいニーズ、NHK局の 放送局	周辺住民の生活利便性から、 会員登録や申込ができない。 NHK鳥取放送局	第二庁舎若者定住促進、大学生の申込手続 上会社の研究所、大学の申込手続 NHK鳥取放送局	民間企業の集積場所利用(施設) 若者定住促進、起業支援 会員登録や申込ができない。 NHK鳥取放送局	民間企業の集積場所をつくることによる新規事業を 会員登録や申込ができない施設 NHK鳥取放送局の活動拠点 施設開拓への意願	シニアアパート、介護施設、飲食店等を立ちてる施設 会員登録や申込ができない施設 NHK鳥取放送局の活動拠点 施設開拓への意願	5 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	6 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	6 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	NHKなど民間オフィ スビル	NHK	NHKなど民間オフィ スビル			
(6) 金融・サービス	銀行、郵便局	起業支援施設(ベン チユーペータ)	※若者定住促進、起業支援 等からのニーズ	小規模な施設や文化を密接にできる イニシアチブ	周辺住民の起業支援等を学べる場 映像制作等を学べる場	1 「ロッカーズ」若者の起業支援の場 映像制作等を学べる場	2 「ロッカーズ」若者の起業支援の場 映像制作等を学べる場	3 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	4 自衛店などの大型商業施設 商業施設	4 周辺に無いスペースマート スペースマート	4 周辺に無いスペースマート スペースマート	大規模商業施設 商業施設 チヨネー店	大規模商業施設 商業施設 チヨネー店	大規模商業施設 商業施設 チヨネー店			
(7) 商業	小売機能	大規模店舗	※必要なしの方が多い	※必要なしの方が多い	※必要なしの方が多い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(8) 食堂	飲食機能	食品スーパー、コンビ ニ	※文化施設等の付属的な ※文化施設等の付属的な ※必要なしの意見多數	周辺住民の生活利便性から、 会員登録の質問等	周辺住民の生活利便性から、 会員登録の質問等	1 買い物が不便なので商業施設、食 品スーパー	2 レストラン、喫茶店	1 買い物が不便なので商業施設、食 品スーパー	2 レストラン、喫茶店	1 買い物が不便なので商業施設、食 品スーパー	2 レストラン、喫茶店	1 買い物が不便なので商業施設、食 品スーパー	2 レストラン、喫茶店	1 買い物が不便なので商業施設、食 品スーパー			
(9) 娯楽・ショッピング	観光機能	レストラン等	●意見多數	●意見多數	●意見多數	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(10) 宿泊	宿泊機能	地元文化・グルメ体験	※休憩、情報収集と一体と しての施設、情報収集とシ ンセイ	地元文化・グルメ体験	地元文化・グルメ体験	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	
(11) 娯楽・ショッピング	アミューズメント機能	ホテル	※地区計画により規制(建 築引きない)	※地区計画により規制(建 築引きない)	※地区計画により規制(建 築引きない)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(12) 文化・芸術	美術館等	映画館、プラネタリウム	アミューズメントパーク	※観客有	※観客有	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス
(13) 文化・芸術	ホール等	音楽ホール	●意見多數	●意見多數	●意見多數	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能			
(14)	芸術・文化関連機能	多目的ホール	●意見多數	●意見多數	●意見多數	19 施設休憩室へ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	21 多目的ホールへ立ちて 施設の運営は立派である。つ ながら施設設備色々など関わ れる施設設備があるが少ない。学 生と企画の実現が可能で 学生と企画の実現が可能で が豊富であるスケーリス	1 市立美術館へ立ちて 美術館等の展示機能									

資料3

市民アンケートについて（案）

- 本市では、市民の貴重な財産である旧本庁舎跡地に求められる機能について、これまで各種団体との意見交換、ワークショップ、ストリートミーティングなどにより可能な限り多くの市民からご意見を伺ってきた。
- 求められる機能について、これまでの意見を整理し、本アンケートにより、フィードバックを行うとともに、広く市民のニーズや意見を統計的に把握・分析することとする。
- ただし、本アンケートは、旧本庁舎・第二庁舎跡地の活用策について、市民のみなさまから幅広くご意見を伺う目的で実施するものであり、お答えいただいたご意見の中で、最も多かったご意見がそのまま市の方針になるものではなく、それらのご意見も参考にしながら、活用策を検討することとする。
- なお、対象者、抽出方法、実施期間は下記のとおりとする。

記

1 対象者

18歳以上80歳未満の鳥取市在住の者 2,000人

2 抽出方法

地域別・年代別に住民基本台帳登録者から無作為抽出
(同一世帯からは複数を抽出しない)

3 実施期間

令和3年2月1日（月）から2月19日（金）まで

鳥取市旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に関するアンケート調査票（案 1）

【アンケートの目的】

本アンケートは、旧本庁舎・第二庁舎跡地の活用策について、市民のみなさまから幅広くご意見を伺う目的で実施しますので、お答えいただいたご意見の中で、最も多かったご意見がそのまま市の方針になるものではありません。

本アンケートでいただいたご意見も参考にしながら、活用策を検討させていただきます。

【アンケート調査票の記入にあたってのお願い】

回答は、原則として宛名の方にお願いします。やむを得ない場合は、代理の方が、代理の方ご自身のお考えとしてご回答ください。

【アンケート調査結果の返送について】

返信用封筒にて、返送（投函）をお願いします。

返送（投函）期限：令和 3 年 2 月 19 日（金）

【アンケートに関するお問い合わせ先】

鳥取市企画推進部政策企画課【担当：平田】 TEL:0857-30-8012

問 1. あなたご自身についておたずねします。（1）・（2）の該当する番号に○を付けてください。

（1）あなたの年齢はいくつですか？

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 |
| 5 50代 | 6 60代 | 7 70代以上 | |

（2）あなたがお住まいの地域はどちらですか？

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 鳥取地域 | 2 国府地域 | 3 福部地域 | 4 河原地域 |
| 5 用瀬地域 | 6 佐治地域 | 7 気高地域 | 8 鹿野地域 |
| 9 青谷地域 | | | |

問2. 跡地に整備する機能についておたずねします。

(1) 及び (2) について、①～⑯のうち該当するものをそれぞれ3つまで選んでください。

機能
① 専門学校、図書館など 教育・学習機能
② 公民館、コミュニティセンターなど コミュニティ機能
③ 病院、クリニック、保育所など 医療・福祉機能
④ スポーツ施設など 健康増進機能
⑤ オフィス、貸会議室など 業務機能
⑥ 銀行、郵便局など 金融・サービス機能
⑦ スーパー、コンビニなど 商業機能
⑧ レストラン、カフェなど 飲食機能
⑨ 鳥取の特産品や観光情報を発信する 観光・コンベンション機能
⑩ ホテルなど 宿泊機能
⑪ 映画館、ゲームセンターなど 娯楽・レジャー機能
⑫ 美術館、音楽ホールなど 芸術・文化機能
⑬ 駐車場など 交通機能
⑭ 避難施設など 防災・減災機能
⑮ マンション、老人ホームなど 居住機能
⑯ 公園・緑地・広場など オープンスペース機能
⑰ 行政窓口など 行政機能

※機能欄に記載した「専門学校」「図書館」などはあくまでも例示です。

(1) 上記の①～⑯のうち「特に必要」と思うものを3つまで選び、下欄に番号をご記入ください。

「特に必要」と思うものの番号を3つまで

1位	2位	3位
----	----	----

(2) 上記の①～⑯のうち「ない方がよい」と思うものを3つまで選び、下欄に番号をご記入ください。

「ない方がよい」と思うものの番号を3つまで

1位	2位	3位
----	----	----

問3. 跡地の活用にあたっての考え方についておたずねします。①～⑩に示す考え方うちの、「特に重要」と思うものを3つ選び、下欄に番号をご記入ください。

- ① 鳥取市民会館など周辺施設と一体的に活用する
- ② 市の財政負担（建設費、維持費）を極力少なくする
- ③ 利活用が始まるまでオープンスペースとして活用する
- ④ 民間活力の積極的な活用を図る
- ⑤ 1か所で目的が達成できるよう、複合的な機能をそろえる
- ⑥ 近隣の商店街等の活性化に貢献する利用を図る
- ⑦ 若者の流出抑制・定住促進につながる利用を図る
- ⑧ 高齢者が安心して住み続けることができる利用を図る
- ⑨ 市外、県外から人を惹きつけるような利用を図る
- ⑩ 歴史・文化ゾーンにふさわしい利用を図る

上記の①～⑩のうち「特に重要」と思うものを3つまで選び、下欄に番号をご記入ください。

「特に重要」と思うものの番号を3つまで

1位	2位	3位
----	----	----

自由記入欄

旧本庁舎等の跡地活用について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。

御協力ありがとうございました。ご記入いただいたこの調査票は、返信用封筒にて令和3年2月19日（金）までに返送（投函）をお願いします。

鳥取市旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に関するアンケート調査票（案 2）

【アンケートの目的】

本アンケートは、旧本庁舎・第二庁舎跡地の活用策について、市民のみなさまから幅広くご意見を伺う目的で実施しますので、お答えいただいたご意見の中で、最も多かったご意見がそのまま市の方針になるものではありません。

本アンケートでいただいたご意見も参考にしながら、活用策を検討させていただきます。

【アンケート調査票の記入にあたってのお願い】

回答は、原則として宛名の方にお願いします。やむを得ない場合は、代理の方が、代理の方ご自身のお考えとしてご回答ください。

【アンケート調査結果の返送について】

返信用封筒にて、返送（投函）をお願いします。

返送（投函）期限：令和 3 年 2 月 19 日（金）

【アンケートに関するお問い合わせ先】

鳥取市企画推進部政策企画課【担当：平田】 TEL:0857-30-8012

問 1. あなたご自身についておたずねします。（1）・（2）の該当する番号に○を付けてください。

（1）あなたの年齢はいくつですか？

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 |
| 5 50代 | 6 60代 | 7 70代以上 | |

（2）あなたがお住まいの地域はどちらですか？

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 鳥取地域 | 2 国府地域 | 3 福部地域 | 4 河原地域 |
| 5 用瀬地域 | 6 佐治地域 | 7 気高地域 | 8 鹿野地域 |
| 9 青谷地域 | | | |

問2. 跡地に必要な機能についておたずねします。①～⑯に示した各機能について、それぞれ該当する欄の番号に○を付けてください。(必要と思う場合は、5 に○など)

(それぞれ該当する番号に○をしてください)

機能	必要性	必要	やや必要	どちらともいえない (わからぬ)	あまり必要ではない	不要(ない方がよい)
① 専門学校、図書館など 教育・学習機能	5	4	3	2	1	
② 公民館、コミュニティセンターなど コミュニティ機能	5	4	3	2	1	
③ 病院、クリニック、保育所など 医療・福祉機能	5	4	3	2	1	
④ スポーツ施設など 健康増進機能	5	4	3	2	1	
⑤ オフィス、貸会議室など 業務機能	5	4	3	2	1	
⑥ 銀行、郵便局など 金融・サービス機能	5	4	3	2	1	
⑦ スーパー、コンビニなど 商業機能	5	4	3	2	1	
⑧ レストラン、カフェなど 飲食機能	5	4	3	2	1	
⑨ 鳥取の特産品や観光情報を発信する 観光・コンベンション機能	5	4	3	2	1	
⑩ ホテルなど 宿泊機能	5	4	3	2	1	
⑪ 映画館、ゲームセンターなど 娯楽・レジャー機能	5	4	3	2	1	
⑫ 美術館、音楽ホールなど 芸術・文化機能	5	4	3	2	1	
⑬ 駐車場など 交通機能	5	4	3	2	1	
⑭ 避難施設など 防災・減災機能	5	4	3	2	1	
⑮ マンション、老人ホームなど 居住機能	5	4	3	2	1	
⑯ 公園・緑地・広場など オープンスペース機能	5	4	3	2	1	
⑰ 行政窓口など 行政機能	5	4	3	2	1	

※機能欄に記載した「専門学校」「図書館」などはあくまでも例示です。

問3. 跡地活用の視点についておたずねします。①～⑩それぞれについて、該当する番号に○を付けてください。(重要と思う場合は、5に○など)

(それぞれ該当する番号に○をしてください)

利用の考え方	重要度	重要	やや 重要	どちらと もいえな い(わから ない)	あま り 重 要 で は な い	重 要 で は な い
① 鳥取市民会館など周辺施設と一体的な利用	5	4	3	2	1	
② 市の財政負担（建設費、維持費）を極力少なく	5	4	3	2	1	
③ 利活用が始まるまでオープンスペースとして活用	5	4	3	2	1	
④ 民間活力を積極的に利用	5	4	3	2	1	
⑤ 1か所で目的が達成できる複合的な利用	5	4	3	2	1	
⑥ 近隣の商店街等の活性化に貢献できる利用	5	4	3	2	1	
⑦ 若者の流出抑制・定住促進につながる利用	5	4	3	2	1	
⑧ 高齢者が安心して住み続けることができる利用	5	4	3	2	1	
⑨ 市外、県外から人を惹きつける利用	5	4	3	2	1	
⑩ 歴史・文化ゾーンにふさわしい利用	5	4	3	2	1	

自由記入欄

旧本庁舎等の跡地活用について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。

御協力ありがとうございました。ご記入いただいたこの調査票は、返信用封筒にて令和3年2月19日（金）までに返送（投函）をお願いします。

第3回 旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会（議事概要）

- 1 日 時 令和2年12月25日（金）午前10時～11時37分
2 場 所 市役所本庁舎6階 6-3・4会議室
3 出席者 (1) 委員（Web会議2名）
柳委員長、福山副委員長、飯野委員（Web会議）、木田委員、堤委員（Web会議）、湯口委員
(2) 事務局
高橋企画推進部長、渡邊政策企画課長、平田政策企画課課長補佐

4 内 容

●委員長挨拶

今日の議題は、市がアンケート（意見聴取）を行いグルーピングされた。次回アンケートについて忌憚のない御意見をお願いしたい。

●委員からの主な意見

- 委 員 A3の分類で、例えば教育・学習、コミュニティ、医療福祉と、交通、飲食を並列に扱っていいのかが気になる。あった方がいい機能を多数いただいた中で、それを同列に見ていいのか検討が必要。鳥取市として、どのテーマを重視するのか、メッセージに関わる。文化、医療、教育が比較的数が多くかったテーマ。どれを中心にしていくのか考え方の整理が必要。
- 委 員 整理の仕方でメリハリをつけたらどうか。
- 事務局 まずは皆さんのご意見をいただくというところ。優劣、メリハリは、現段階では考えていない。皆さんの意見をまず見ていただき、まとめていきたい。したがって、今後、この活用策をまとめる段階で、市の意見を含めたいと思っている。今の段階では、皆さんの意見を示しアンケートを取りたい。
- 委 員 例えばアクセス面で駐車場が課題という話と、教育が重要と話は全く別物。性質が違うということで整理をする必要があると思う。
- 事務局 今後、まとめていく段階で整理したい。
- 委 員 分類の順番は意見が多い順か。
- 事務局 第11次総合計画の体系に従って整理している。意見の大小ではない。
- 委 員 一番多かった意見は分かるか。
- 事務局 数を示すことは可能。
- 委 員 数の分類でマトリックスを作ると違う見方ができる。
- 委 員 まとめ方はまとめたものをどうするかによる。集約した言葉が意見を反映させていいか。①専門学校等は生涯学習等でまとめた方がいいのではないか。②集会交流機能は居場所がキーワード。憩いの場がほしいのでは。子育てのイメージ。③オープンスペース、コミュニティ、文化は機能としてつながっているので意識してほしい。
- 委 員 機能をすぱっと分けてしまうのは難しい。次回のアンケートに十分検討してほしい。
- 委 員 分類の話。民間と自治体がやるもの、その程度は分ける必要があるのではないか。鳥取市がどうするのかにつながる。優劣はつける必要はない。すべてができるわけではない。そのあたりの切り分けが必要。できないことは専門家委員会や住民では

- 委 員** 議論しにくい。次の議論につながる分類が必要。
- 委 員** 最初の分類の仕方としては良い。図らずも跡地利用として WS 等をやった結果、第 11 次総合計画に対する市民の評価が出ていると思った。つまり、それぞれの項目に対し市民のニーズが充足しているか否かの評価がでたという点で、まず第 1 次の資料だと思う。さらに行行政の準備資料によって鳥取市の強み・弱みがどこにあるのか整理されている。これらをもとに整理すると、他の施設でも代替できるものや、本当に不足しているものが何か整理できる。それをアンケート調査につなげるといい。さらに、それを公共がやるのか民間でもできるのかなど、特に費用負担の問題が大きな争点になるので、こうした論点を専門家である我々が整理すれば、住民の皆さんに合理的に判断する根拠を提示できるのではないかと思う。
- 委 員** 非常に厳しい市民の評価が現れているのではないか。鳥取市で SWAT 分析をどう考えるか、民間と公共がどう絡みあっているのかという意見をいただいた。
- 委 員** 参考資料で羅列したものよりまとめると見やすい。想定外のものもある。にぎわいを取り戻すとか人を集めるとかそういうことにこだわらなくても、鳥取市の観点とか活性化ということを考えると、何もしないとか、ひとまずこのまま置いとくという意見も結構あり、なるほどなと思ってみたところ。
- 委 員** これはたたき台。今後、これらの意見を次回のアンケートに結び付けたい。
- 委 員** ワークショップの属性は。
- 事務局** 年代は 10~80 代。年齢層の高い方が多かった。
- 委 員** 案 1・2 では負担が変わるので回収率も変わってくると思う。返ってきてても有効回答が下がる。一つだけ○の場合それを有効とするのか。
- 委 員** 案 2 の 5 段階で、例えば一つだけ○を付けてそれが有効なのかどうか。
- 委 員** 案 2 は公共施設の場合は難しい。みんな必要とする可能性が高い。なぜなら費用がかからない。トレードオフの関係にならない。どれも重要な○をつけて終わる。どちらかと言えば案 1 の方。アンケートをどう有効活用するかである。説明で、数が多くればよいということではないとあった。例えば①が多かった場合、それを優先的に検討して、優先順位の高い順に検討する。数が多いのがいいという話ではない。
- 委 員** このアンケートは、例えば 1 番点数が高いのをどう使われるのか。
- 事務局** 数が多いものは市民の皆様が必要であるもの。活用策を示すときは、アンケートも考慮し、重要なポイントとなる。定量的な意見を伺うためのアンケートである。
- 委 員** どう活用するか。どういう議論になるか。どう複数案に絞るかが分かればご提案ができる。
- 事務局** 次回の専門家委員会ではアンケートの結果をお示ししながら議論いただくことになる。アンケート結果にもよるが多くの 5 つ程度の求められる機能にまとめ、来年度、具体的な活用策をしぼっていく考え。まずはその 5 つ程度の求められる機能というものを、決めさせていただくために、定量的なアンケートをする。
- 委 員** 求められる機能は住民アンケートを使ってまとめるということでよいか。
- 事務局** 住民アンケートを活用する。ただ、何度も申し上げるが、アンケートで多いものが活用策の重点的なものにはなってくるとは思うが、それが最終的に多かったからこの方向性で決まるというわけではない。それだけは確認いただければと思う。
- 委 員** アンケート結果が必ず採用されるということではない。中身を精査して、最終的に決めようということ。

- 委 員** 案1か2かは迷う。心配なのは、アンケート用紙だけを送られてきて住民は判断ができるかどうかである。将来に責任を持って住民に考えてもらいたいのであれば、鳥取市の現況、課題、解決に向けた取り組みの内容など、いわゆる総合計画の中身を分かりやすく示した資料を同封する必要がある。学術的には、資料ありのアンケートと、資料なしのアンケートで回答にどのような違いがあるかを見たいところだが、少なくとも、直接跡地をどうするかではなく鳥取市のまちをどうしたいかという情報提供がセットでないといけない。場合によってはアンケート実施時期をずらしてもらうことになるかも知れない。もう少し考えてもいいのでは。
- 委 員** 十分な情報提供。総合計画等を十分情報提供しないと調査票は有効に使われない。情報提供の考え方はどうか。
- 事務局** おっしゃる通り。アンケートだけでは難しいのでと内部で話をしていた。ワークショップ等での資料を抜粋しながら、アンケートを実施したいと考えている。資料を後日お送りしたい。準備はしたい。
- 事務局** 補足する。委員が言られた総合計画が最終的な取りまとめの段階で、1月には答申をいただく予定。次の総合計画のある程度簡単にまとめたものは、2月以降であれば、アンケートに入れることができるので、それについては考えてみたい。
- 委 員** アンケート結果は住民の方に情報提供するのか。
- 事務局** 市報は、この専門家委員会の1年の取りまとめ・経過を出す準備を進めている。ただ、アンケートの結果が出るのが3月ごろ。今、考えているタイミングでは間に合わないかも知れないが随時、専門家委員会の協議の経過、跡地活用策検討の進捗状況等を情報提供したい。差し当たって市報2月号に掲載準備を進めている。
- 委 員** アンケート前に広報も必要。アンケートの問3。機能と同様①～⑩の項目でレベル感と異なる性質がまざっているので整理が必要。①～⑤の内容は、主に活用の仕方に関するものでHowに関わるもの。⑦～⑩は、テーマ、Whatに関するもので性質が異なるものがまざっているので、もう少し整理するとわかりやすい。行政がやることと民間がやることの話。行政として重要と考えるものと市民が重要と考えるもので整理ができないか。問2は、今回ワークショップで出たので、主に市民として重要なとを考えた項目。一方、問3は、市として、重要と考えている考え方。2つの質問を重ねることで、市民としても重要かつ行政としても重要というのが、浮かび上がってくるのではないか。そうすると次の施策につなげやすいのではないか。
- 委 員** アンケート内容を機能別・項目別に整理という話。資料4-1と4-2どちらを採用するかというのも今日のテーマだった。
- 委 員** 案1の方が答えやすいがランキングはなくても良いのでは。1、2、3位は重要か。
- 事務局** 順位付けするアンケートとしないアンケートがある。今回はより市民の意見を具体的に聞きたかったので順位をつけている。
- 委 員** 中身をもう一度検討するとしても、案1・案2のどちらを採用するという結論まで至らないといけない。委員は案1がいいという意見が多い。案1がいいが、中身をもう少し検討してアンケートに結び付ける。中身についての意見はどうか。
- 委 員** 「ない方がよい」→「なくてもいい」である。⑤の意味は、複数の機能を持つという意味だったらもう少し別の言い方がある。
- 事務局** ここで表現したかったのは「複合的な機能を持ち合わせているもの」。表現を検討す

- る。
- 委 員 今、総合計画を策定中とのこと。例えば、機能でホテル宿泊機能とか、その他、土地は歴史文化を有する観光・居住の舞台という計画があるが合致しない機能を除いてしまうのか。もしくは規則を変えて入れるのかという意見もある。機能 17 をすべて、選択肢とするのはどうか。
- 委 員 今回のアンケートは、17 項目はほとんど考えられるすべての機能が出てきている。何らかの形で絞り込んで聞いた方がいい。住民も答えづらい。民間に任せれば市としては土地を貸すだけ。市として整理しないと答えてもらえない気がする。総合計画に合わせてもう少し整理して聞いた方がいい。決め方を決めてくれないと何とも答えられない。
- 委 員 技術的なことからお願いしたい。選択肢の中から 3 つを選ぶ場合、選択肢はせいぜい選択数の 3 倍ぐらいまでにしておかないときちんと考えてくれない可能性がある。17 個もの選択肢はかなり危険。思考停止の答えが返ってくる可能性が非常に高いというのが、まず技術的な問題としてある。次に選択肢の絞り方は総合計画の分類を使うのも一つの方法である。この場合、市の考え方と住民の考え方のずれが出てくる可能性があるが、次の段階で、なぜ市がこう考えているのかということを、住民と話し合う場につなげることがで、議論の積み上げが可能となる。総合計画という形で整理してもらえると次のステップに行きやすいし、行政も説明がしやすいと思う。
- 委 員 アンケートを回収しクロス分析をかけた時、例えば問 3⑦・⑧の結果が想定できる。若者は⑦が重要で、高齢者は⑧に丸をつけると思うので勘案し工夫が必要。
- 委 員 個人的に 17 は選べる。跡地活用に興味がないと 17 は多い気がする。
- 委 員 皆さんの意見がもう少し機能を絞ってということ。総合計画等、別の切り口で分類し、アンケートを取ったらどうかという話なので、また、検討していただければと思う。対象者の件。2000 人、地域別年代別でサンプル抽出する。
- 委 員 有効回答数が全国で 2000 人くらいなので自治体では 400 人でいいと思う。答えてくれる年齢が上がる所以我々はネットを使う。数が多い方が安心。若い人、忙しい方からどう取るのか工夫していただいた方がいい。
- 委 員 選挙と一緒に、高齢の方が多いというお話をあったと思うが、結果が全体を適切に表せていないような結果になったときはどうする予定か。若者の回答がほとんどなかった時にどうするのか。
- 事務局 総合計画でも、高齢の方の回収率が高い。回答率における加重平均により統計学的には整理できる。
- 委 員 意見をグルーピングしてもらったがもう少し集約できるのではないか。アンケートは案 1 で内容はもう少し整理した方がいいという話があった。
- 委 員 次の専門家委員会で、機能をある程度絞ると認識している。どう絞っていくのか手順を示してもらえるか。
- 事務局 アンケートを実施した上で、どのように絞っていくのか案を示す。それをまた専門家委員から意見をいただきながら、最終的な絞りを確定するというような流れを考えているところ。
- 委 員 そういう流れを考えていただけるということ。公共主体か民間主体か等、方向づけした方がやりやすいという話もあった。

4 その他

- 事務局** 第4回専門家委員会日程については、3月で日程調整をしたい。
- 事務局** 3月までに専門家委員会の開催は難しいのでアンケート、配布する資料をいったんお送りし、メール等で意見を伺う。
- 委 員** 考え方をまとめたものをメール等で送っていただけるということ。次の3月はそのアンケート内容・機能を検討して、市民アンケートを取るスケジュールでいいか。
- 事務局** アンケートは2月にさせていただきたい。今日の意見をアンケートに反映させる。併せて、総合計画等アンケートを書く上で見ていただく資料を作成し1月中にメール、郵送等で配る。それをもう一度見ていただく。専門家委員会は聞く時間がないので、意見をいただきながら、アンケートを確定し、2月にアンケートを実施する。3月の専門家委員会は、アンケートの結果を見て、鳥取市が機能を絞り、また意見をいただく形になるとを考えている。
- 事務局** アンケートは資料4-1をベースに内容を検討。そのアンケートに添付する基本情報も併せて1月に送っていただけるということ。それに対して、コメントがあればまたメール、電話でフィードバックさせていただくスケジュールでよろしいか。次回の開催について3月中。